

放課後等デイサービス事業所における自己評価の集計結果(公表)

令和 4年 3月 14日

事業所名 高槻市立療育園

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	5	0	0	活動スペースは十分に確保されている。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1	0	看護師が2名いるので医療的ケアが必要な利用者に対応している。
	3	事業所の設置等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	0	0	療育園がバリアフリーになっている。車椅子対応のリフト車2台で送迎している。
業務改善	4	事業改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	4	0	放デイ会議を設け、反省等改善に向けた取り組みを行っている。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を糖を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	保護者に対し事業所評価のアンケート調査を実施し、改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等に公開しているか	5	0	0	ホームページで公開し、事業所内に掲示している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	2	3	
	8	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	0	4	1	全員ではないが、自主的にいようになっている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0	4	1	発達検査の報告や連携シートをもとに行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	1	1	担当者を中心に立案し、放デイ会議等で職員全員で検討し取り組んでいる。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	3	2	0	子どもの状況にあわせて、成長・発達を促すようなプログラムを組むようになっている。家や学校ではできない活動を取り入れ、また自由に過ごせる時間も保障することを考慮している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	4	1	0	平日は、短い時間でもできることを、長期休暇には、時間をかけて取り組めることを取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画が作成されているか	5	0	0	利用者の特性や課題に応じた取り組みをしている。みんなで活動できる時間が持てるように工夫して取り組んでいる。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	2	0	一日の流れや役割・分担を記入した日案を作成し、確認できるようにしている。掲示しておき、出勤時間が異なる職員にも把握できるようにしている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	2	2	1	支援を振り返る時間を持つようになっている。月1回会議を行い共通理解を図っている。	
17	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	個人記録を記入し、必要な時に見れるように整理しておき支援に繋げている。	

関係機関や保護者との連携

18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しをするようにしている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	1	0	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	サービス担当者会議には、児童発達管理責任者や看護師、担当者が参画できる体制を取っている。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	1	0	保護者の了解を得て、学校の連絡帳を見させていただき日々の様子を確認している。 メールにて連絡を取っている学校もある。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れている場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3	0	複数の医療機関を利用している医ケア児童には、保護者を介して緊急時の対応を確認している 医療的ケアの必要な利用者には承諾書を提出してもらい看護師が対応している。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1	1	多くの利用者が卒園児のため情報共有ができる。 相談支援員からの情報は得やすい。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2	0	相談支援員を通し情報の提供ができる。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	1	相談支援員を通して行っている。 療育園の訓練を受けている利用者が多いため助言を受けることができる。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	5	散歩等に出かけた際、地域の人と触れ合う機会を大切にしている。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	2	3	子どもワーキングに参加している。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	連絡帳や送迎時等を利用し子どもの様子を伝えるようにしている。また、個別支援会議やモニタリングを通して共通理解を図っている。
29	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	1	3	

保護者への説明責任等	30	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	利用開始時に面談を行い、契約書と重要事項の説明を行っている。 受給者証の更新があった時には確認をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	3	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	5	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	職員間で共通理解をしてできるだけ迅速に対応するように努めている。
	34	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	0	0	5	会報の発行はできていない。 情報や予定は連絡帳や手紙等で伝えている。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	一人ひとりの状況や理解に合わせて、サインやツール等を使って伝え方の工夫を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	5	
非常時等の対応	38	緊急対応時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	3	1	保護者に周知しているとはいえないが、感染予防に関する注意喚起のお知らせは配布している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	園の計画にあわせ放デイでも定期的に防災訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	3	1	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	0	2	保護者には子どもの安全をを第一にしている旨を了承してもらっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	0	アレルギー食が必要な利用者には、医師からの指示書を提出していただき、アレルギー除去食を提供している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1	0	今年度は事例がなかったが、改善に向けての検討はその都度行っている。	